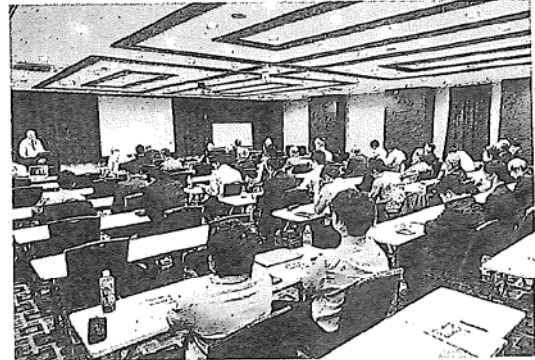


天草五橋テーマに講演会 建設コンサルタンツ協会



（二社）建設コンサルタンツ協会は17日、「インフラ整備70年講演会」を福岡市内の会場とWEB方式を併用して開催した。写真。同講演会は戦後の代表的な100のプロジェクトを紹介しているもの。第50回となる17日の講演会では、熊本県天草地域の「天草五橋」をテーマに取り上げ、建設の経緯や海上橋梁における新しい技術へのチャレンジ、幾多の課題を解決した工夫、完成後の効果などを紹介した。

多区のTKPガードアンシテイ博多新幹線口には、建設コンサルタンツ企業の関係者など約130人が来場したほか、WEBを通じて約900人が講演会を視聴した。冒頭、進行役を務めた建コン協九州支部の田中清支部長があいさつ。天草地域の特性や講演内容の概要について紹介するとともに、「本日も多くの方に来場、および視聴いただいている。本当に感謝申し上げます」等と話した。

夢の懸け橋として昭和41年に完成。講演会では、熊本大学の山尾敏孝名誉教授やNEXCO西日本コンサルタンツの福永靖雄代表取締役社長、元熊本県土木部長の戸塚誠司氏が登壇し、プロジェクトの経緯や計画概要、施工状況、完成後の効果などについて解説。さらには、鹿島建設土木管理本部の矢野一正橋梁統括部長が、実際に施工に携わった技術者にインタビューを行い、当時の状況などの証言をビデオ収録して紹介した。

会場となった福岡市博

五つの橋を含む天草連絡道路は、離島をつなぐ